

長門有希の絶体絶命

ながとゆきのぜったいぜつめい

ゆずぽん個人誌

成人向



この本のとおり
SEXおしえて

おい長門おまえ
そんなキャラだったか...

これが必要。

わ...わかったよ
この陥没乳首を
何とかしなきゃな...

じゃまず

ふに

ふに

ふに



これー。

かぼ

マッサージの吸い玉...
こんなのまで用意して...
エロいな。長門...

わ...乳首...
出てきた...

やば...すげー
燃えてきた...

本気で
やらせてもらおうぞ
長門...

ホム

どうぞ。

乳首も完全にムキ出しになったな

ポルンッ

じや自分の手でゆつくり挿れでみ...

ん...

グ...

びゅ...

あ...

ああ...挿入って...くる...

何が?言ってみな。

お○んちん...

ハァ

ハァ

ギキキ...

ギキ

ギキ...

ズブ...

ズ...



激しく!!

ハア

突いて...!

あ...もつと...もつと

ズググ

ズググ

ズググ

長門...今の顔...
すごくかわいくて...

ああ

一緒にイクよ
長門...!

!!

ズググ

ズググ

人間っほいぞ

あ...

あんんんっ♡

おしりおしり

マジっすか...
~~~~~  
~~~~~

♡おわり♡

魔女裁判

ゆずぽん



どうかしら？
漆の味は

皮膚がかぶれる
くらい痒くなって
くるわよ



たえられる
かな？

あなたの体感覺機能を
有機生命体の10倍以上に
増大してあげたの

いいのよ
ここから
逃げて



もっともその体じゃ
私のつくった異空間から
出るのはムリね



痒い…

か…

痒…い…



いつもの
長門さんじゃ
ないみたい♪

生漆の力は
すごいわね

あ…うっ



ま…つ…て…も…つ…と
泣…か…せ…て…あ…げ…る

あ…

あ

あ…



痒...

か...



お〇んこ...

痒...いいい

胸...

足...

クヌ
クヌ
クヌ



そんなに私に
触ってほしいの?

あらあら全身
クネクネさせちやって

掻いて...

モじ

モじ

モじ

モじ



痒い...

掻いて...

掻...



くっ

あ

ひ



ほーら

クツクツ





あ…

あ…

や…

痒い…

あ…

あ…

痒い

ダメ

や…やめ…

あ…あ…あ…

あ…

あ…

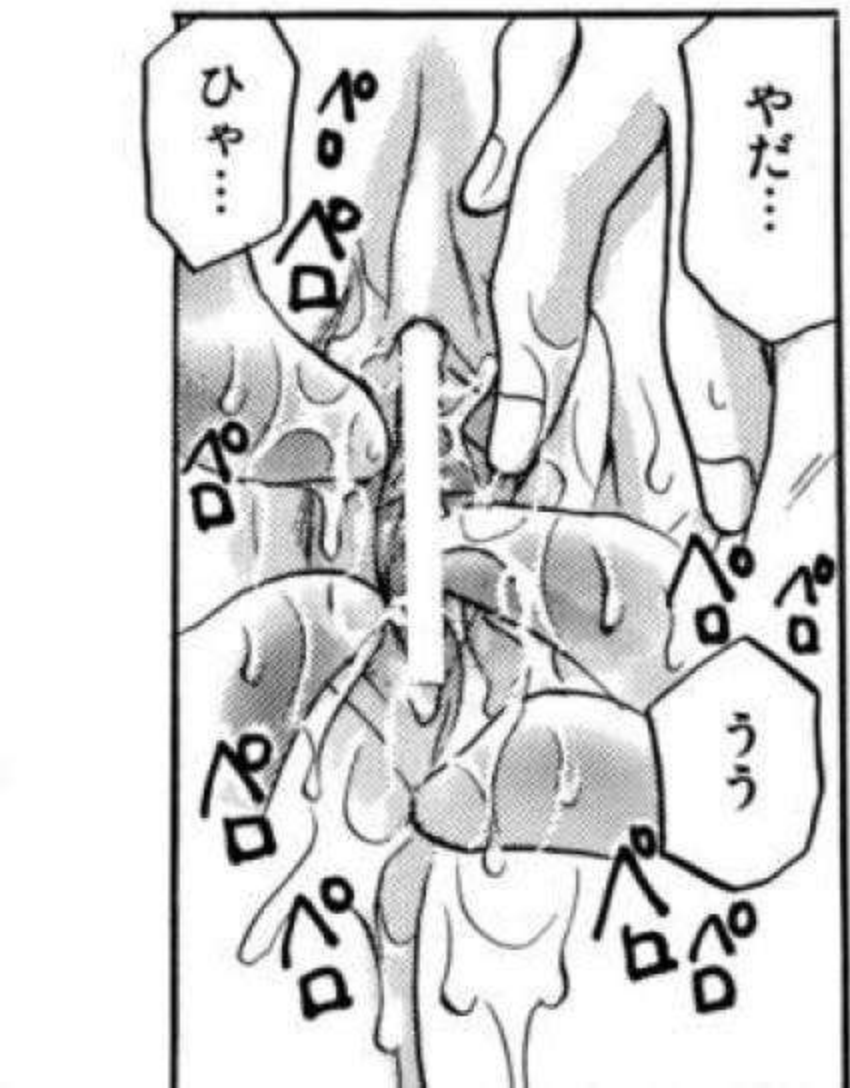
あ…

あ…う

はっ

痛…

あ





ダメ…

クリ…ダメ

あっ

ひあ

あ

ふああっ

あっ

はっ

あ♡

ダメ!!!

ネコちゃんたちの舌で
イッちゃったの?
長門さん

あ

あう

あー

あーあ全身
痙攣させちゃって



お願い…

腔中

掻いて…

掻いて

掻いて

掻いて…



朝倉さ…

痒い…

掻いて



イキながら
痒みにもだえて
哀願する
長門さん♡

あなたのために
作ったのよ♪

いいなア♡

お〇んこの中
掻いて…

もっと…

私長門さんの
腔中に挿入って
みたかったの

バックアツプ
だけじゃ
つまらないもの

あ…

ああ…

ク
ッ

ああ

ヌキ…

あん

あ…

あ…

おづっ

ズ
ッ



あ
すっごい
しめつけて
るわよ♡

あ

ギキ

ギキ

あ…は♡これが
あなたの体♡

あ

ギキ

お望みどおり
腔中こすって
あげるわね

みち

あう

はっ



あ…あ…

んんん…



ぐっ

ああ

うう!!



ひ…ん

挿入って…

くる…



お...
腔奥まで...

はっ

はあっ

深...



やめる?

ダ...メ

もっと



はじめの
おチン〇は
どうかかな?

ふあ

はああ



キツイ...
イタイ...

苦し

ね♡長門さんが
好きなように
動いて

あっ

ず
ず
ず

あううう

あん

ず
ず

ず
ず

ず
ず

はあ
ああ

はっ

ぬ
ぬ

ぬ
ぬ

あ…ダメッ
私もッ!!

すご…激し…っ
そんなスピードで
擦られたらっ

あんっ♡

ず
ず



どう？私の
魔女裁判は？

痛みを与えるより
刺激的でしょ？

で私の一派に
移る気にな
ったかな？

それは
無理。

まあいいわ
さすが
長門さんね♡

でもあなたが
決心するまで
この魔女裁判は
永遠につづくわよ

魔女…裁判…



しゅん...